

2023.12.16 「クリスマス記念セミナー その1」

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

直腸診が大切 直腸診の閾値を下げていこうと思いました

知っているようであいまいであった虫垂炎の話

予想して推定して診断にあたる訓練をすること

青木先生の研修

梅毒でネフローゼがある

徳田先生も青木先生も身体所見の重要性を強調されていたこと、予測することが臨床医の肝であること。

徳田先生の Alvarado score の考え方のお話、青木先生の、感染して時間が経つと局在するものは局在するので、局在していなければしないタイプを考えるという考え方が勉強になりました。

尿中のホルモンを調べていいですか。頭部 CT とりたくなったとき感染症を考える。

耐性菌は可逆性に減らせるという話

感染症を疑うことの難しさです。

2023.12.17 「クリスマス記念セミナーその2 午前の部」

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

症例について深く考えることが大事ということ。一見基準値でも病気が隠されているかもと考えること。

オスラー 羊の話

ただの感想になりますが、山中先生・平島先生・オスラー先生の三人ともが「患者さんに本当に資する行動はなにか」という医療の根っこを語ってくださったことに感謝します。

検査値が正常でも副腎不全を疑う必要があること

山中先生の副腎不全のケースは勉強になりました。

オスラー先生の幼少期から青年期、病理医から臨床医へ、医学教育、そして大切な息子さんの死から戦争・平和への思いについて教えて頂き、深く感銘を受けました。「ぼんやりと遠くにあるものを見るのではなく目の前のことに集中すること」、患者さんについて「熟考」すること、「どのような人であるかを大切にすること」、眼前に医学以外の本を読むことを教えて頂きました。オスラー先生の深く壮大な情熱が伝わってきました。

色々な歴史を教えていただいたこと

2023.12.17 「クリスマス記念セミナーその2 午後の部」

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

手掌、足底の皮疹では手足口病、掌蹠膿疱症、梅毒を考える

オスラー先生の最後の講演

中西先生の症例 コロナの方の入院をお願いするときのこと

特異度の高い所見

急性腹症の捉え方、ティアニー先生の Story と Data という考え方、強制呼気での頸部聴診、オスラー先生の若い頃の逸話、手の診察所見、中西先生の外来でも魔の差すことがあること

どのセッションも濃すぎて、楽しめました。中西先生のお話は特に参考になりました。

間違ったら電話する。口を開けて息を吸わして fine crackle を聴く。

身体所見、爪の話

須藤先生と中西先生のたくさんの貴重な奨励とても勉強になりました。ありがとうございました。

今回も素晴らしい講演会で大変勉強になりました。一番心に残ったのは中西先生の診察の動画です。臨場感があり、勉強になりました。今年もありがとうございました。

記録することの大事さをあらためて感じました。

記録することの大切さです。

須藤先生や中西先生の発熱外来の実際の現場現状を垣間見れたこと

どのセッションも大変有意義でした。オスラー博士の人生、、、あらためて認識できました。